

レディースNOW

商工女性は今

茨城県商工会女性部連合会

水戸市桜川2丁目2番35号

電話 (029) 224-2635

FAX (029) 226-0955

発行者 櫻井 姚

女性部員数 3,226人

女性部主張発表会

「災害からの復興は心の復興にあり 必死さから紡ぎだされた商工会女性部活動」

染谷さん（常総市）が最優秀賞



最優秀賞に輝いた染谷さん

県商工会女性部連合会では、2月10日に、ホテルグランド東雲において第17回茨城県商工会女性部主張発表大会及び部員研修会を開催した。主張発表は、県内各ブロック代表の佐藤しげ子さん（高萩市）「キラキラのある街を目指す」・仲田とみ子さん（城里町）「健康体操」・根本孝子さん（鹿嶋市）「女性部の活動に参加して思うこと」・入江テイ子さん（石岡市八郷）

「健康づくりは食事から」・杉山雪子さん（美浦村）「百年時代を楽しく生きよう」・染谷悦子さん（常総市）「災害からの復興は心の復興にあり必死さから紡ぎだされた商工会女性部活動」の6名の方々が日頃の思いを発表した。



発表者の皆さん

（左から佐藤さん、杉山さん、染谷さん、入江さん、根本さん、仲田さん）

が日頃の思いを発表した。

厳正な審査の結果、最優秀賞には染谷さん、優秀賞には佐藤さん、優良賞には杉山さんが選ばれ、その他の方々には敢闘賞が贈られた。

染谷さんは、関東・東北豪雨災害で甚大な被害を受けた鬼怒川の堤防決壊から4年半、災害からの復興という一点に向かって勇気をもって歩んできた常総市商工会女性部活動が部員の心の復興と明るい気持ちの源に繋がった。原稿を一切見ない姿勢も評価され、最優秀賞の受賞となり、本年7月16日に開催される関係交流研修会（長野大会）に本県代表として出場し発表する。発表は、茨城県商工会女性部連合会、櫻井姚会長を講師に迎え、「活気あふれる職場環境と人材育成のコミット」をテーマに講演会を実施した。自身が現場で活躍されていると、自身の苦闘や従業員が増加してきた経緯、従業員とのコミュニケーション方法、思いやりあふれる接し方など、櫻井流、人材育成について講話され、参加者442名は熱心に聞き入った。

東・東北豪雨災害で甚大な被害を受けた鬼怒川の堤防決壊から4年半、災害からの復興という一点に向かって勇気をもって歩んできた常総市商工会女性部活動が部員の心の復興



熱弁をふるう櫻井会長

レディースいきいき物産展 地域自慢の品が勢揃い!

各地域の特色を活かした産品を一堂に集め、地域特産品等を広くPRするとともに、ビジネスパートナー探しの場として活用することを目的とした「第20回茨城レディースいきいき物産展2019」を11月25日（月）、ザ・ヒロサフ・シティ会館（水戸市県民文化センター）にて開催した。県内41事業者が厳選されたこだわりの特産品やその地域でしか手に入らない逸品など約200品目を販売した。

1回目より毎回出展しているという出展者も多く、毎年ここで購入するのが楽しみだという参加者も多い。また、物産展当日に品切れで購入できなかった商品について、来場者からのお問合せが出展された事業所店舗にあるなど、事業者にとってPR効果は大きい。

そして、物産展とあわせて行われた大ホールでのステージイベントでは、「水森かおりコンサート」を開催した。“ご当地ソングの女王”としての代表曲「鳥取砂丘」や茨城に因んだ楽曲「潮来水郷」、「常磐線から」などが披露され、親しみやすいマイクパフォーマンスを交え会場は盛り上がった。



賑わいを見せる物産展会場



水森かおりさんに花束贈呈

いばらきレディーススカレッジ2019 受講者アンケート結果報告

本年度9月18日から10月17日にかけて2日間4講座開催した「いばらきレディーススカレッジ」について、参加した方々のアンケートがまとまったので、その概要を報告します。

【第一問】受講者の年齢構成・60歳代が40%で最も多く、次に70歳以上の34%・50歳代の17%と続いた。

【第二問】受講者の身分構成・女性部役員が45%と最も多く、次に一般部員・部員以外の商工会会員と続いた。

【第三問】セミナーに参加の感想・全体を通して「役に立った」が44%を占め、次に「とても役に立った」が36%と、8割の受講者が概ね役に立ったとの感想であった。

【第四問】女性部活動への参加状況・「よく参加している」が78%、「時々参加している」が18%と、ほとんど全員の受講者が女性部活動に参加している。

【第五・第六問】今回のセミナーで役に立った講義の内容・とても役に立った講師①野老先生71%②加藤先生41%③藤井先生30%④柴田大先生11%⑤の順であった。

【第七問】受講の目的・「教養・知識を深めるため」が54%と最も多く、次に「商工会の奨めがあったため」が15%であった。

【第八問】今後希望する講義内容・「経営・ビジネス教養・成功者体験」が22%と最も多く、「健康」18%、「地域振興・まちづくり」15%と続いた。



野老 真理子先生

もともとご講話頂いた野老真理子先生(大里綜合管理㈱)やオンラインワン企業を指し成功された、藤井隆太先生(株龍角散)の講義のように、自社の経営姿勢を見直す切欠になるような講義が印象に残ったようです。また、弁護士に加藤美香保先生・金融の専門家である柴田大先生



藤井 隆太先生



まち(地域)づくり顕彰で表彰

第2部では各ブロックの代表による女性部の主張発表大会が行われ、関東ブロック代表としては、山梨県から河内正子さん(南都留南部商工会)が出場し、見事に最優秀賞を受賞された。続く基調講演では、「神在月の国出雲へようこそ」をテーマに万九千神社の錦田剛志宮司が講演され、日本から出雲に神さまが集まる神在月(かみありづき)について解りやすく時に軽妙なトークで講話され会場は笑いに包まれた。

【第一問】受講者の年齢構成・60歳代が40%で最も多く、次に70歳以上の34%・50歳代の17%と続いた。

【第二問】受講者の身分構成・女性部役員が45%と最も多く、次に一般部員・部員以外の商工会会員と続いた。

【第三問】セミナーに参加の感想・全体を通して「役に立った」が44%を占め、次に「とても役に立った」が36%と、8割の受講者が概ね役に立ったとの感想であった。

【第四問】女性部活動への参加状況・「よく参加している」が78%、「時々参加している」が18%と、ほとんど全員の受講者が女性部活動に参加している。

【第五・第六問】今回のセミナーで役に立った講義の内容・とても役に立った講師①野老先生71%②加藤先生41%③藤井先生30%④柴田大先生11%⑤の順であった。

【第七問】受講の目的・「教養・知識を深めるため」が54%と最も多く、次に「商工会の奨めがあったため」が15%であった。

【第八問】今後希望する講義内容・「経営・ビジネス教養・成功者体験」が22%と最も多く、「健康」18%、「地域振興・まちづくり」15%と続いた。



柴田 大先生



加藤 美香保先生

商工会女性部全国大会が「八百万の神々集う縁の地しまねにようこそ！」をスローガンに、10月29・30日の両日、島根県松江市「松江市総合体育館」で開催された。

1日目の大会には茨城県内から女性部員22人が参加し、全国各地より約2000人の女性部員が松江の地に一堂に会した。第一部の大会セレモニーでは、全女連各種事業表彰も実施され、当会は「女性部員増強運動(加入促進強化期間)の都道府県部門で第2位となり表彰された。また、「まち(地域)づくり顕彰」では関東ブロックの代表として、阿見町商工会女性部(茨城県)と羽村市商工会女性部(東京都)が表彰された。

視察研修では、足立美術館・出雲大社などを見学し、インバウンドに取り組み島根県の取り組みなどを視察をとおして学び、今後の茨城県的女性部活動等への大きな参考となった。

第21回商工会女性部 全国大会開催 in 島根

全女性連 まち(地域)づくり顕彰を受賞された事業

“手作りブローチ「勝ち虫赤とんぼ」・「阿見さくら」と町のPR”

「町のお土産をつくりたい!」との声から始まったお土産開発・販売事業で、女性部員手作りのブローチ「勝ち虫赤とんぼ」・「阿見さくら」には、町や予科練平和記念館のお土産として町内外の人達に阿見町のPRを目的として実施しています。



頑張る!! 後継者

茨城町 1946年創業 割烹料理店「大黒家」
店舗所在地：茨城町奥谷 47-3
TEL 029-292-0070



1946年創業の割烹料理店、大黒家では、2003年に坏雄一氏が3代目料理長として就任しました。修行を重ね、2003年に店に戻ると、売り上げは低迷していたため、近くの斎場と直接契約を結び、売り上げを回復させました。30歳半ばを過ぎた頃に、経営や販路拡大について考えるようになり、地元食材を活かしたメニュー開発に取り組みました。売り上げが過去最低に落ちた東日本大震災の後も、意識的にその取り組みを続けた結果、行政の方からイベント出店のお声がけをいただき、店のPRに繋がりました。更に、未来塾への参加で、自社の強みを再確認し、中期経営計画や行動計画を作成しました。昨年12月から、客数や注文数のデータ分析を数値化し、経営理念を明確に打ち出し発信する事で、協力者を増やす事が出来ました。町が人口減少していく中で、地域との関わりを強化し、生産者への感謝を忘れずに、店を100年続けていくのが目標です。



小泉運輸 有限会社
事業所所在地：桜川市西小埜 1792-1
TEL 0296-75-3526

桜川市



桜川市西小埜地区で従業員18名を抱える「小泉運輸有限会社」。一人娘である人己さんは、創業者であるお父様の下で運送業を学び、家業を継承しております。男性従業員と同じく自身で長距離運転や荷卸しもおこなっている為、朝早くから夜遅くまでの仕事になることもありますが、子育てをしながら頑張っています。

基本方針としてきめ細かい対応、丁寧な運送を心掛け、荷主様のニーズに合わせ、安全快適

をモットーに取り組んでおります。近年、運送会社は厳しい現場として、ドライバー不足に悩んでいる会社が多く、問題を解決すべく茨城県トラック協会でも推奨している女性ドライバーを起用し、新しい事への挑戦の一つずつ取り組んでおります。社員一同コミュニケーションをとり、小さなことにも耳を傾け意見を交換し合える職場として日々努力しております。



(仁平 千鶴子 記)

横島精肉店
店舗所在地：坂東市岩井 4631-2
TEL 0297-35-1178

坂東市



精肉業60年。
私が嫁いでから48年、その間色々なことがありました。

義父母の看病、主人も30年間病氣と闘いながら約8年前に他界しました。

20年前から次女が店を手伝ってくれることになり、病人を抱えて仕事をやる私にとって大きな力になってくれました。

店では坂東市産の豚肉、常陸牛、国産鶏肉、手作りのギョーザ、焼豚、惣菜等を販売しています。特に娘の作る手作りギョーザは大変好評をいただいて、近隣市町村はもとより他県から買いに来て下さる方もあり、ありがたく思っています。

この先、どのようなことが起こるかわかりませんが、小学校3年生の孫(男の子)が「もしばあちゃんが死んだらママと僕でお肉屋さんをやるよ!」と言って来てくれています。嬉しい限りです。

今年71歳になりますが、近所の人やお客様に支えられながら、娘や孫の為に体の動く限り生涯現役で頑張るつもりです。

近くに来られる時がございましたら、是非お立ち寄り下さい。お待ちしております。



利根町 利根飯店
店舗所在地：利根町大字布川 2115-90
TEL 0297-68-7130

「先代の背中を見ての決意」

利根飯店は昭和57年3月に開業しました。先代は新潟県出身で、利根町で開業する以前は池袋で中華料理店を営んでいました。仕事に対して手間を惜しまず黙々と働く人で、今でも最高のお手本だと思っています。

先代に影響を受けて、私は高校卒業後、都内の中華料理店で修業しました。店を継ごうと思ったきっかけは、先代と母の働く姿を見て力になりたいと思ったからです。2代目としてのスタートは築30年程経った先代の店を建て替える事になってからです。店の経営から全ての事を先代から引き継ぎました。

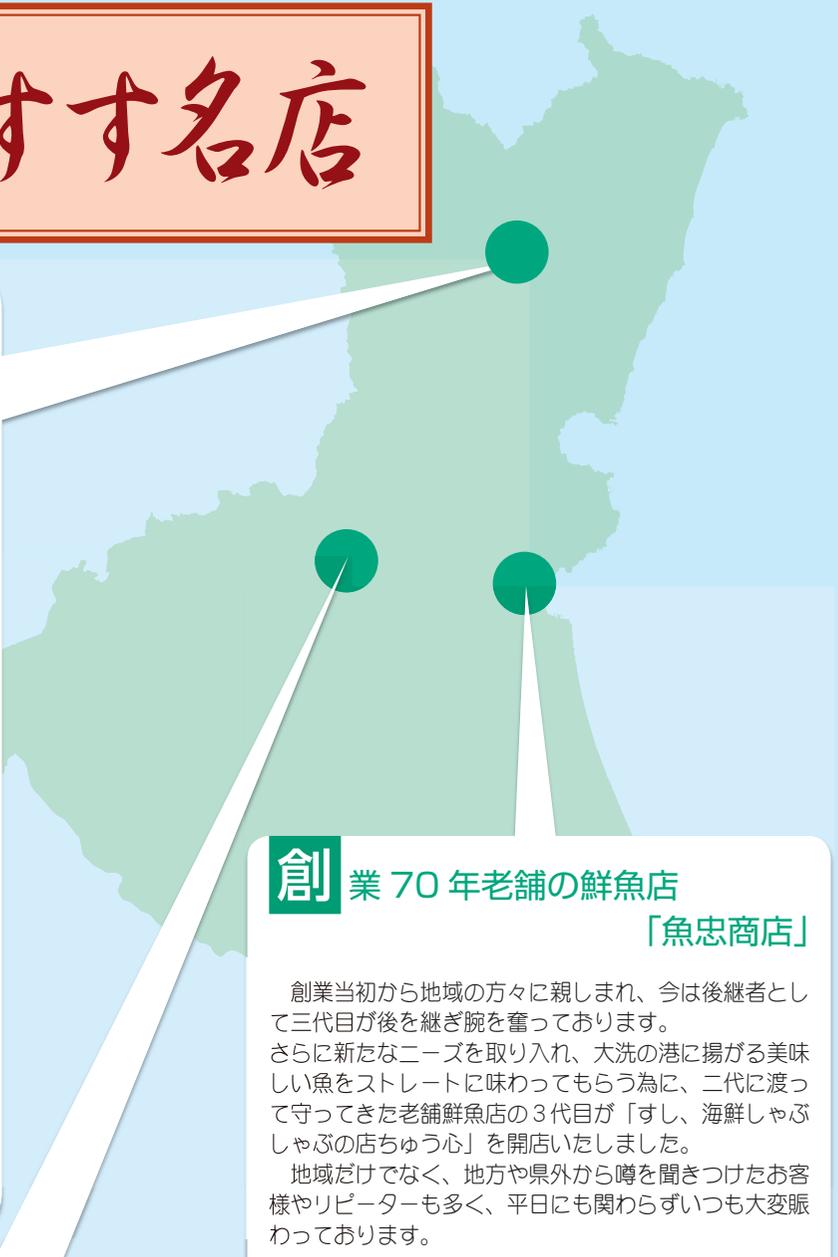
私は先代と母と働き始めて、店の基盤を守りながら新しいチャレンジは出来ないかと考える様になりました。その結果、健康増進をテーマにした『アスリートメニュー』・利根町のゆるキャラとねりんをイメージして開発した『とねりんチャーハン』が出来ました。又、今年はスマートフォン決済を導入しました。今後は、今まで以上に私の家内・子供達の意見を取り入れて、親・子・孫の3世代に満足して頂ける様な店造りを目指していきたいと思っています。



こう話してくれた2代目は、とても頼もしく!今日も頑張っています!

(武藤美知子 記)

地域の おすすめ名店



いい友

常陸太田といえば蕎麦で有名なところですが、寒暖の差でおいしい常陸秋そばが栽培される地元にはたくさんのおいしい蕎麦屋さんがあります。その中でも変わった蕎麦屋さんを紹介するそば処「いい友」です。蕎麦を食べるのも打つのも大好きすぎて自分で手作りでお店を建ててしまい蕎麦屋さんをはじめてしまいました。器用なご主人は元は大工の棟梁。お店は金、土、日曜日と週の 3 日間の午前 11 時から 15 時までの営業なので時期や時間によっては余裕をもって食べに来てほしい所です。お店がどこにあるのか宝探しに行くように通りの坂を登っていくと畑の中にお蕎麦屋さんの旗が見つかります。のんびりと食べたい田舎の風景の中にお店があり前の畑では奥様が作っている野菜たちが栄養たっぷりに育っています。採りたての旬の野菜の天ぷらもおすすめです。蕎麦は自分の畑で採れた常陸秋蕎麦を手狩り・天日干し・自家石臼挽きで製粉したものを使用。中に入るとご主人手作りのテーブルやいすが並んでいます。お蕎麦を頼むとお蕎麦が来る前にサービスのおいしいそばがきが届きます。お蕎麦はおいしいのはもちろんです。奥様は恥ずかしがり屋なので正面の写真は遠慮していますが(畑の中にちらっと)一緒に厨房で働いている仲の良いご夫婦です。スマホで検索してぜひ 1 度お友達と食べに来てください。

(西野真理子 記)

店舗所在地：常陸太田市高貴町 1446-4

TEL 090-1537-2804

営業時間等：金～日曜日 (11:00 - 19:00) ※時間等変更になる場合がございます



創業 70 年老舗の鮮魚店 「魚忠商店」

創業当初から地域の方々に親しまれ、今は後継者として三代目が後を継ぎ腕を奮っております。さらに新たなニーズを取り入れ、大洗の港に揚がる美味しい魚をストレートに味わってもらう為に、二代に渡って守ってきた老舗鮮魚店の 3 代目が「すし、海鮮しゃぶしゃぶの店ちゅう心」を開店いたしました。地域だけでなく、地方や県外から噂を聞きつけたお客様やリピーターも多く、平日にも関わらずいつも大変賑わっております。

店舗所在地：大洗町磯浜町 987

営業時間等：11:30～14:00、17:30～23:00

最終入店 21:00 (ラストオーダー 21:30)



創業70年老舗の鮮魚店「魚忠商店」



すし・海鮮しゃぶしゃぶの店「ちゅう心」



韓 食道

2019年6月にキムチ工房かわさきの店舗隣にオープンした韓国料理店「韓食道」では、本場韓国の味を気軽に美味しく召し上がっていただきたく、店内での飲食はもちろん、テイクアウトも賜っております。定番の石焼ビビンバをはじめ、韓国のり巻きや海鮮ネギチヂミ、甘辛いトッポッキ鍋、鶏一羽を煮込んだ優しい味のタッカンマリ鍋、サムギョップサル、プルコギなど、辛いのが苦手な方でも召し上がれるメニューもございますので是非一度足をお運びください。

※テーブル数が少ない為、ご来店前にご予約される事をお勧め致します。

定休日：月曜日

営業時間等：火曜～土曜日 11:30～14:00、17:30～21:30 日曜日 13:00～21:30

店舗所在地：笠間市福島 617 TEL 0299-45-4452



「タッカンマリ鍋」

台風19号関連報告

災害を乗り越えて ～為せば成る何事も！！～

台風 19 号で、1 階フロア全 250 坪が床上浸水 1 メートル。衣料品も食品ギフトも、マネキンもレジ台も全てが泥だらけ！！従業員、同業者、取引先、建設業者、友人知人、お客様、子供の同級生とその親達、商工会青年部の皆様等、総勢 200 名以上の方々に手伝っていただき、泥の掃き出しに 1 週間、電気復旧までに 2 週間半、電話 FAX 回線は 3 週間半、お歳暮の宅配ギフトのコンピュータが始動するまでに 6 週間かかりました。

売り上げがなくても支払いは発生するし、お給料は支払わなくてはなりません。気持ちの焦る中、ある日、水害被害のお客様が「服も肌着も全部流された！何でもいいから安く売ってくれ！」と来店されました。この言葉に後押しされ、店頭でテントを張り、日中の明るい間の 9 時半から 15 時半、水害商品を並べ 500 円均一で販売いたしました。テント販売から 3 週間後、電気が復旧し、店内の衣料品コーナーも 20 坪から 30 坪へ徐々に広げ、お陰様で現在はギフト売り場と制服学用品を加え、売り場 50 坪（それでも元の 5 分の 1 の面積ですが）で、10 時～17 時と営業時間を短縮して女性 5 人で頑張っています。為せば成る何事も！！



「たくさんの方がボランティアに駆けつけてくれました」



「被災された方のために、日々頑張っています！」

大子町商工会女性部 藤田 昭子



張り切り美人

まるで絵画のような美しい里山の景色が広がる常陸太田市西河内地区に店舗を構える「ヨのcote sasahara」は



「今後の展開に夢膨らませる真澄さん」

昨年6月にオープンして以来女性客を中心に口コミとSNSで連

朗らかな笑顔と一緒に迎えてくれるのが、今回の張り切り美人の店主 菊池真澄さん。

日話題のおしゃれなカフェです。祖母から譲り受けた古民家を改修し、居心地の良い素敵な店内で



「外観はほぼそのまま。看板はお父様の手作り」

の影響で福祉に興味を持ち、このお店も就労継続支援B型事業所に指定されており、障害や病気があっても無理せず働ける職場になっていきます。

福祉を充実させ、お店のコンセプト「和と輪と話。ひとの繋がりをつくるストーリー」を大切にしていきたいと、夢を膨らませています。
(富岡千鶴子 記)

「この仕事をいませ」「こちらへどうぞ」と元気な声で車を誘導する、いつも元気のいい「一夫さん」と

の木村豊子さん。役場を辞めなくなった父親のガンリンスタンドを継いだ「一夫さん」と結婚したのは昭和57年のことでした。それから一男二女

の読書やハイキングは出羽三山に挑戦し、このころの友達と美味いものを食べに行くことも楽しみの一つ。農業も好きでお米は、小田



の子育てをしながら、地域の一番店を目指し年中無休で、無我夢中に働いたそうです。

現在 は、毎週日曜日が定休日となり、趣味

は、平飼いで販売しています。交通安全推進員として積極的に活躍している張り切り美人です。
(南條恵子 記)



フィッシュ・三宅

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4875-2
TEL 029-840-2686



プラスリーJOZO

〒300-2707 常総本石下 2052
Tel 0297-42-2056

県立医療大学近くの海鮮料理店『フィッシュ・三宅』さんをご紹介します。

入店すると、気さくな奥さんが出迎えてくれ、靴を脱いで絨毯の上を歩いていくと、まるで家に帰ってきたような感じが包まれます。店名に「魚」を冠するだけあって鮮度抜群、調理も絶妙です。ディナーや宴会料理はもちろん、ランチ時にも海鮮丼や焼き魚、煮魚を目当てに来店するサラリーマンや女子会でにぎわいます。



(武藤美知子 記)

「プラスリー」JOZOは、清酒「細美人」の蔵元が二年前に立ち上げた、常総市にあるフレンチレストランです。平成27年の鬼怒川洪水により蔵に隣接する築百年のけやき造りの古民家が「メートル50センチまで浸水し、多くのボランティアの方々に助けて頂き復興していく中で、地域の人が集まるコミュニティの場にした」とレストランを始めました。

復旧と改修に2年近くをかけ、平成29年11月にオープンしました。ランチコースでは2千円からフルコースが楽しめる、ディナーコースは3千800円からですが、メイン料理を5種類の中心から選べるので、から選べるのでおすすめです。食材には地元産の常陸牛、つくば鶏や美明豚を使いシエフが季節の料理を提供しています。デザートには、パティシエが素材の特性を活かした8種類のケーキがあり、ティファウトも出来ます。個室スペースに大部屋と小部屋があり、通しにすると24名を収容できます。またフレンチレストランとしては珍しいカウンターを備え、一人でも気軽に利用でき、女性が寛げる空間となっています。店内では清酒や梅酒をはじめジヤムや飲む果実酢、米菓や調味料等の販売をしています。今後は、料理や菓子教室などイベントを企画し、地域のコミュニティの場として充実を図りたいです。
(野村育代 記)





黄門さま、いらっしやいませ 那珂市商工会女性部

毎年10月に、黄門さまゆかりの地を歩く「水戸黄門さま漫遊ウォーク」が開催されます。私達女性部は、市から依頼を受けて、水戸市・常陸太田市から那珂市役所前までの曲がり屋へ

向けて歩いてくる参加者へ「七運汁」でおもてなしをしています。「七運汁」とは、大根、にんじんなどの7種類の「ん(運)」の付く食材を入れた地元民話「額田たつたあい」に出てくる民話料理で、食べるという縁起の良い汁です。女性部では、10数年前からイベントで提供し、お客さん



んからとても好評です。お昼の到着に間に
(飛田 祐子 記)

合わせて、当日は朝から300食の準備に大忙しです。黄門さまご一行も市長さん、毎年楽しみにしてくりが、私達もやりがいをもって参加しております。
(飛田 祐子 記)

四季の里さくらフェスティバル

小美玉市商工会女性部

毎年4月上旬に開催される「四季の里さくらフェスティバル」は小美玉市商工会とさくらフェスティバルの実行委員会が主催となりコンサートやものづくり体験、小動物とのふれあいコーナーなど小さな子からお年寄りまで楽しめるイベントを企画し、開催しております。ステージでは歌謡ショーやヨーグルトの早飲み大会

ズンバなどで盛り上がり、芝生広場では模擬上棟式でお餅やお菓子をゲットするため大きな袋を持つ人たちで大変な賑わいです。各部会では、蕎麦や赤飯・もつ煮などの販売が行われ大行列になりました。私たち女性部も毎年参加をし、女性部伝統の焼きそばの販売や甘酒の無料サービスを行ってあります。私達の活動は年間を通して4つのお祭りに参加し、また女性部独自の様々な事業にも和気藹々と楽しみながら社員同士の絆を深め、地域活性化のため

す。女性部の焼きそばは野菜やお肉がたっぷり入っており大変美味しーと思えます。
(宮川綾子 記)



～女性部が目指すもの～

江戸崎の雛まつり (稲敷市)

稲敷市商工会女性部



稲敷市では、2月10日から3月3日まで「えとぎき笑遊館」をメイン会場に「江戸崎の雛まつり」が開催され、今年で15年になります。笑遊館に飾り付け

ける今年の作品の目玉は、子年にちなみ「ねずみの嫁入り行列」と題し、150匹以上のねずみの人形を作り上げました。その準備には、1年を要する為、部員たちの地道な活動に支えられています。この雛まつりは、子供達も毎日見に来るほどの人気ぶりです。又、不動院にある49の階段に、稲敷市地域おこし協力隊やその他の人々と協力して頂いて、2時間余りの時間をかけおひな様を飾り

付けます。その階段飾りは、圧巻で見ている人達から感嘆の声が上がります。その声を聞くと疲れも吹き飛び、部員達の達成感が、笑顔から喜びへと変わっていきます。その雛まつりは、今回で惜しまれながらも、終了となってしまいました。今後、部員間の絆を深め、地域の人々に喜ばれる活動を企画



運営されていく事を期待しています。
(相良志津子 記)

かしま食べ物語

鹿嶋市商工会女性部

ご存知でしょうか。最近、全国的に食べ物語



フェアを行うておりますが、鹿嶋市では、例年、鹿嶋の食材を活用した食事の提供を行っております。今年「鹿島だご」です。鹿島灘の浜辺に響きを立ててびつかる荒波にもまれて育った「だご」は、肉厚で食べ応えも抜群です。市内16店舗では腕を振るって素材をつまみ生かした特別メニューで皆さんを歓迎しております。ただけ、これだけ、今だけ、時間があれば、是非皆



さんもこの鹿嶋の「食」にチャレンジしてみたいという声があふれた鹿嶋の料理人が、鹿島灘の生産者と手を組み、鹿嶋の自然の恵みを、最大限生かしたメニューはいずれの店舗でも後悔はさせません。ハマグリ、ホッキ、シラス等々鹿嶋にはおいしい海産物はたくさんあります。私達女性部は、このような事業の取組みを積極的に応援しています。
(眞中 ミヨ子 記)

女性部活動を通して部員獲得を！

五霞町商工会女性部

「あら素敵！良くできているよ」と褒めたい声があふれる。女性部活動のあちこちから聞こえてくる。五霞町商工会女性部のブローチ作りの様子です。最初は久しぶりに針を持つたという部員さんも多く真剣そのものでしたが、2度目ともなると凝ったブ



作ることにゃくは軟らかさの中にも弾力があり、とても美味しく出来上がりました。ゆず

味噌も作り、調理室での試食会は大盛況でした。そんな中、部員以外の方から「女性部の事業に参加してみたい」との声をいただき、部員増強のチャンス!!



これから楽しい事業を考えていきたいと思っております。
(長嶋多美子 記)



お城市に参加して かすみがうら市商工会女性部

令和最初のお城市が、かすみ博物館で開催されました。毎年1月3日に開催され今年も10回目を迎えました。いつも寒さと風の中でスタッフは着物を着て参加し「ま

ちあこし」を行っています。伝統の着物や帯が織成す素晴らしいアイディアを取り入れ、部員さんがリメイクをした着物を着て、甘酒を販売しました。普段着の上に羽織るだけで、手軽に華やかになりました。スタッフ全員が模擬店の前で「いらっしやいませ」と声をかけると、皆さん口々に「ステキ」「便利ね」「どんなふうに

作ったの」とお声がかかり、私達も華やいだ気分です。楽しみながら参加しました。今後、ただ物を販売するばかりでは無く、若い部員に継承しつつ、地域の方々の交流の場を広めていきたいと思っております。

